

■ 在宅医療を目指した動機

術後歩行能力獲得し退院後、寝たきりとなり褥瘡合併
→臓器別医療に疑問 看護の重要性再認識

寝たきり高齢者への過剰な医療 四肢抑制 向精神薬投与など
→高齢者医療のあり方に疑問 生活ケアの重要性再認識

(「寝たきり老人のいる国、いない国」大熊由紀子著 '90年初版)

'91年(H.3)

車椅子の身体障害者と海外旅行→医療を必要な人に医療がない
→機動力ある医療の意義再認識

'92年(H.4)

訪問看護を基軸とし、往診医療も行う診療所開設 24時間・365日対応
訪問看護師 2名 (非常勤 2名) PT(非常勤 1名) パートナー医(1名)

'08年(H.20)現在

在宅療養支援診療所 4箇所(行政と連携のため基礎自治体)

介護老人保健施設

訪問看護ステーション3箇所

(→平成17年 2箇所に統合 医療法人立および有限会社立)

その他介護保険事業所、グループホーム(NPO)、宅老所(NPO)など運営

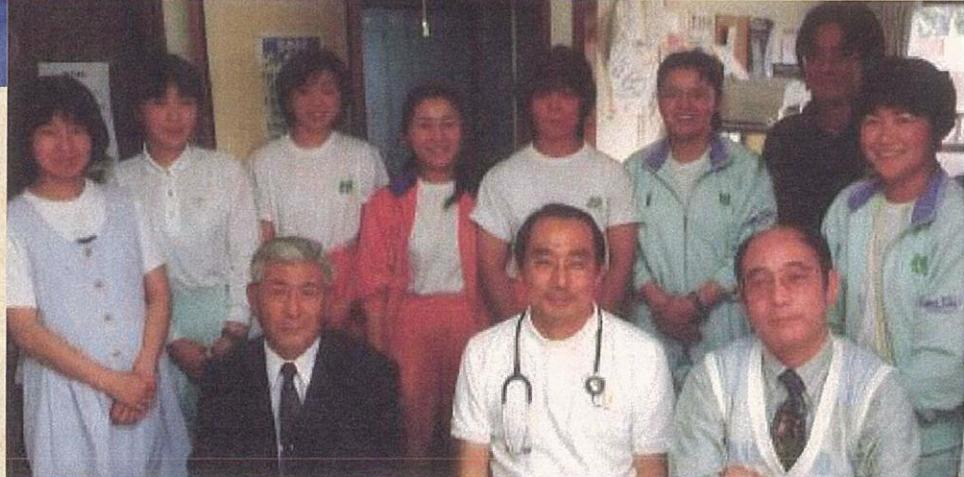
5



紹介1

午前 外来
午後 訪問診療

在宅医療
訪問看護
24時間・365日
対応



1992年4月開院